

2025.10.7

第20回みなとCKD連携の会

@東京慈恵会医科大学2号館803会議室+web

総合座長 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科講師 福井 亮先生

特別講演

予後を意識した高血圧治療 とMR拮抗薬の位置づけ

—新しい高血圧ガイドラインを踏まえて—

国際医療福祉大学三田病院 腎臓・高血圧内科

西本 光宏



まとめ

- ・ MR拮抗薬は生命予後の改善をもたらす可能性がある。
- ・ MR拮抗薬は高アルドステロン性高血圧に有効であるのみならず、低レニン低アルドステロン、特に高食塩摂取が改善できない高血圧患者、肥満高血圧に有効である。
- ・ 特にeGFR低下例に使用する場合、eGFR低下・高カリウム血症に注意し、少量から開始するなどの配慮を行う必要がある。
- ・ eGFRが保たれた状態でアルブミン尿を呈する初期の慢性腎臓病合併高血圧においてメリットが大きい。



Take-Home message

血圧の数値目標の達成

+

長期予後を意識した高血圧治療

